

平成30年度 第1回 バイオ産業研究会 講演会のご案内

「食品の安全・衛生管理と品質保持を目指して」

この度、バイオ産業研究会では、「食品の安全・衛生管理と品質保持を目指して」と題した講演会を企画いたしました。国際的な食品の衛生管理手法である HACCP 他の認証制度について、天然成分を利用した食品用抗菌フィルム開発について、そして食品容器から溶出されうる化学物質と今後の規制動向について、それぞれご専門の先生方にご講演いただきます。ぜひご参加くださり、日頃の業務にお役立て下さいますよう、ご案内申し上げます。

記

主催： バイオ産業研究会
日時： 平成30年6月22日(金) 13:55～17:30
場所： 地方独立行政法人大阪産業技術研究所 森之宮センター 4階 小講堂
(大阪市城東区森之宮 1-6-50、<http://www.omtri.or.jp/>)
交流会： (地独)大阪産業技術研究所 森之宮センター 3階 大講堂
参加費： (講演会) バイオ産業研究会会員 無料、非会員 10,000円
(交流会) 2,000円
(年会費) 10,000円(企業法人会員のみ)

プログラム：

13:55～14:00 会長挨拶 公立大学法人大阪市立大学大学院 理学研究科 教授 田中 俊雄
「講演」
14:00～15:20 HACCP 制度化の狙いと認証制度の活用

湯川食品科学技術士事務所 所長 湯川 剛一郎

HACCP の制度化等を内容とする食品衛生法の改正案が国会で議論されています。その目的と内容、食品事業者に求められる対応について解説するとともに、食品安全マネジメントシステムの国際企画である ISO 22000 による認証を始めとする様々な認証制度の活用について考えていきます。

15:40～16:30 食品用抗菌フィルムの開発とその周辺

公立大学法人大阪市立大学 URA センター リサーチアドミニストレーター 関山 泰司

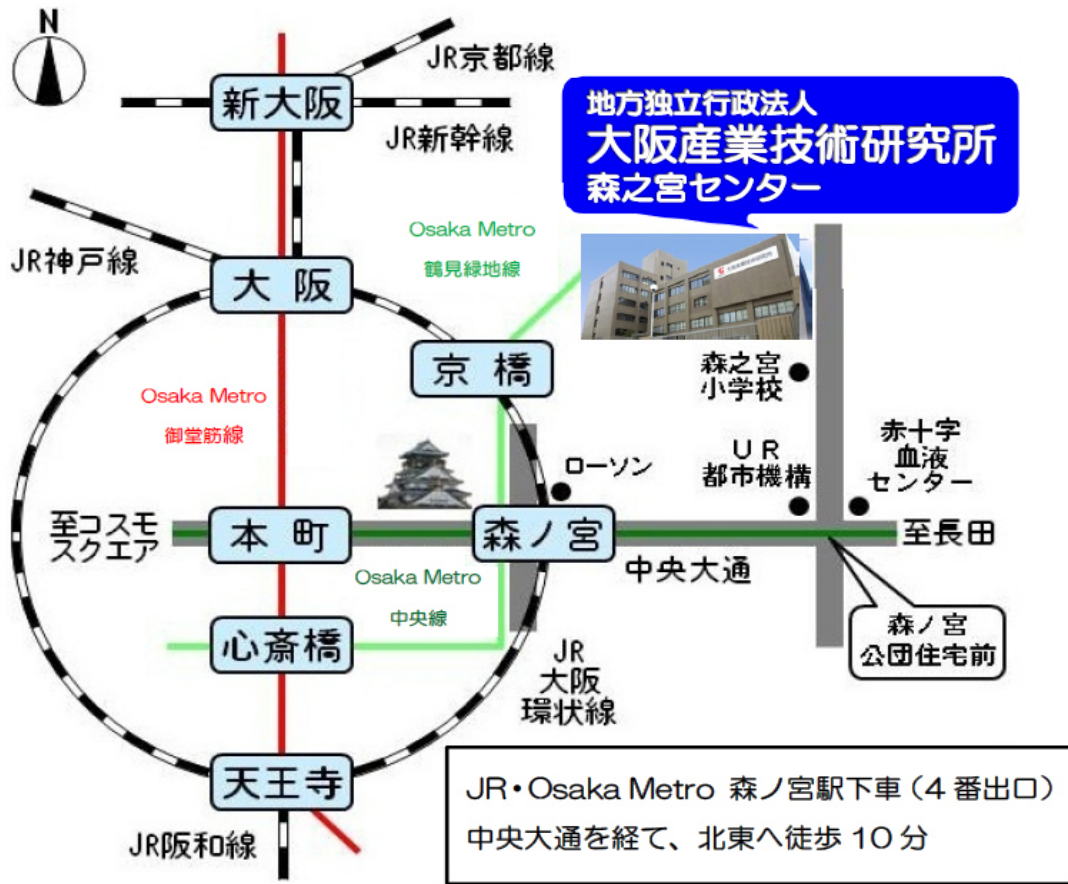
「食品用機能性包装」という言葉は脱酸素剤から MA 包装やバリア包装まで極めて広義に使われていますが、抗菌剤とプラスチック基材を組み合わせた、いわゆる「抗菌フィルム」に特化した報告は比較的少ないです。そこで本講演では、食品のシェルフライフ延長に寄与するこれら製品の技術的背景や特長を紹介します。

16:40～17:30 食品用器具・容器包装からの溶出物質と今後の規制の動向

(地独)大阪健康安全基盤研究所(天王寺センター) 衛生化学部 食品化学2課
主幹研究員 尾崎 麻子

食品用器具・容器包装として広く用いられているプラスチック製品から溶出する可能性のある化学物質についてお話しするとともに、今後、厚生労働省によりポジティブリスト制度の導入が予定されていることから、規制の動向もご紹介いたします。

「交流会」 17:40～19:00 (地独)大阪産業技術研究所 森之宮センター 3階 大講堂



平成 年 月 日

バイオ産業研究会宛

平成30年度 第1回 バイオ産業研究会講演会申込書（平成30年6月22日開催）

会社名			
所在地	〒		
	TEL	FAX	
参加者	部課名	氏名	参加の有無を○×で記入
			講演会
			交流会

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、6月20日（水）までに FAX または E-mail にてお送りください。

申込・問い合わせ：〒536-8553 大阪市城東区森之宮 1-6-50

(地独) 大阪産業技術研究所 森之宮センター 環境技術研究部 バイオ産業研究会 事務局 大本貴士
TEL：06-6963-8065, FAX：06-6963-8079, E-mail：omt@omtri.or.jp